



# UACJ

*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# UACJグループが目指す軽やかな世界

代表取締役 社長執行役員  
石原 美幸

2023年12月7日  
株式会社UACJ



# UACJグループのサステナビリティの進化

統合10年を迎え、「100年後の軽やかな社会」の実現に向けた取り組みを加速



## 2014～2017年度

### ガバナンスを中心とした 機構強化

- 2014 外国人執行役員を登用
- 2015 女性の社外取締役を選任
- 2016 取締役会の実効性評価開始
- 2017 指名・報酬諮問委員会を設置  
働き方改革に着手

## 2018～2020年度

### 経営の中核として サステナビリティ活動を推進

- 2018 環境負荷データの集計範囲を海外に拡大  
企業経営経験者を社外取締役に選任
- 2019 取締役・執行役員の数大幅削減  
技能伝承の仕組みをグループへ展開  
構造改革スタート
- 2020 理念対話会開始  
コーポレートスローガン、  
ブランドステートメントを公表  
ASI加盟  
サクセッション・プランの本格運用開始  
役員報酬体系にTSRを導入

## 2021～2023年度

### サステナビリティ活動の 高度化

- 2021 サステナビリティ基本方針を策定  
マテリアリティを策定し、推進スタート  
国連グローバル・コンパクトに加盟  
ASI認証を取得(福井/UATHラヨン製造所)  
気候変動対策推進委員会を発足  
TCFDに賛同、シナリオ分析結果を公表  
役員報酬体系にSDGs評価、RSUを導入
- 2022 カーボンニュートラルへの挑戦を宣言  
CDP「気候変動」「水セキュリティ」でB評価を獲得  
人材戦略プロジェクトを開始  
構造改革完遂
- 2023 サステナビリティ推進本部を設置  
UACJ基金(仮称)を設立  
マルチステークホルダー方針を策定

# UACJグループ 理念体系(フィロソフィー)

## UACJグループ理念



## 行動指針「UACJウェイ」



### 企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

### 目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

### 価値観(バリュー)

#### 行動指針「UACJウェイ」

##### 相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

##### 誠実さと未来志向

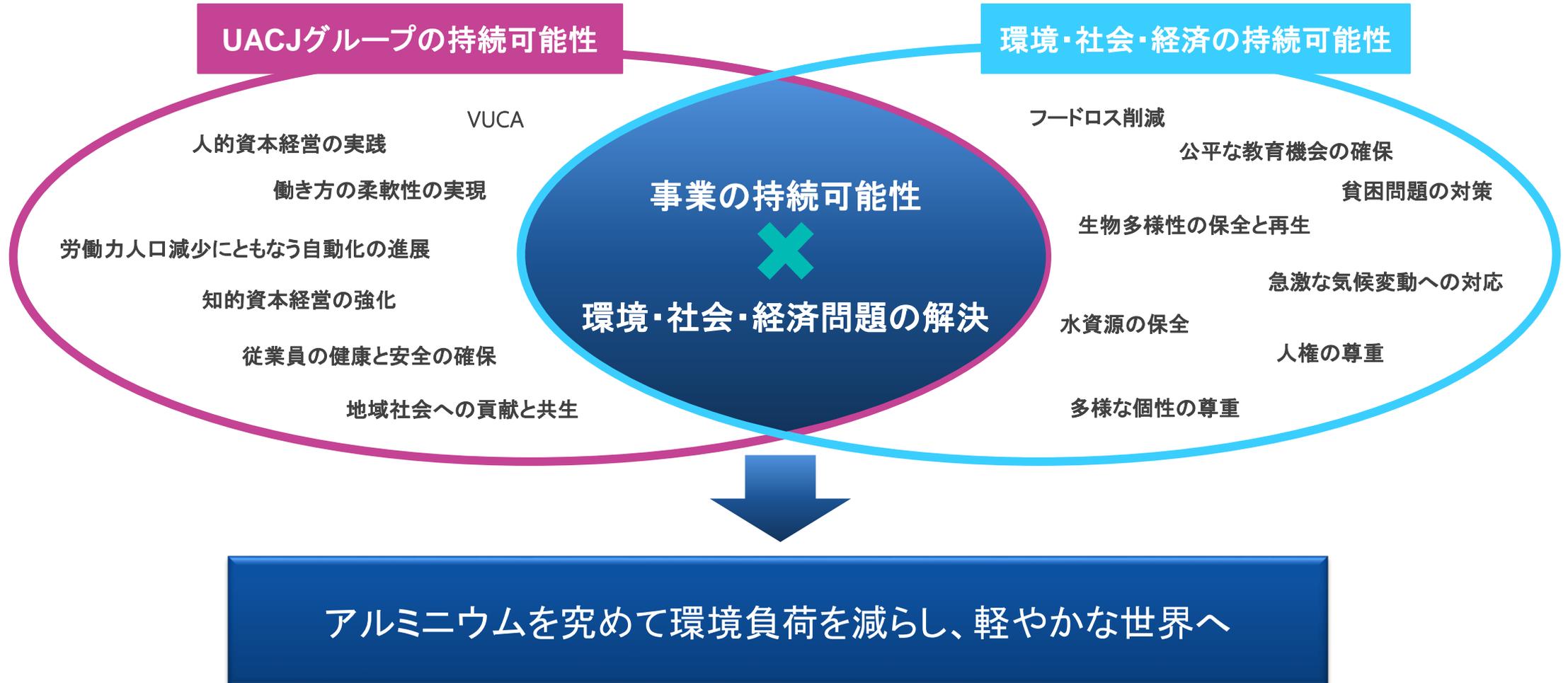
- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

##### 好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

# UACJグループにとってのサステナビリティ

アルミニウムを通じ、「持続可能で豊かな社会の実現」に貢献することを目指す



## 100年後の“軽やかな世界“のために



受け継いできた情熱と叡智で

創業以来の探求心と、技術と知恵を結集したイノベーションでより便利な社会、持続可能な地球環境を追求します。

すべてのステークホルダーの  
皆さまとともに

事業を通じて向かい合う関係者はもとより、  
いろいろな形で関わりあう社会を思い、  
グループ内外の人々と協調・協働して  
持続可能な世界への貢献を実現します。

一人ひとりの多様な個性で

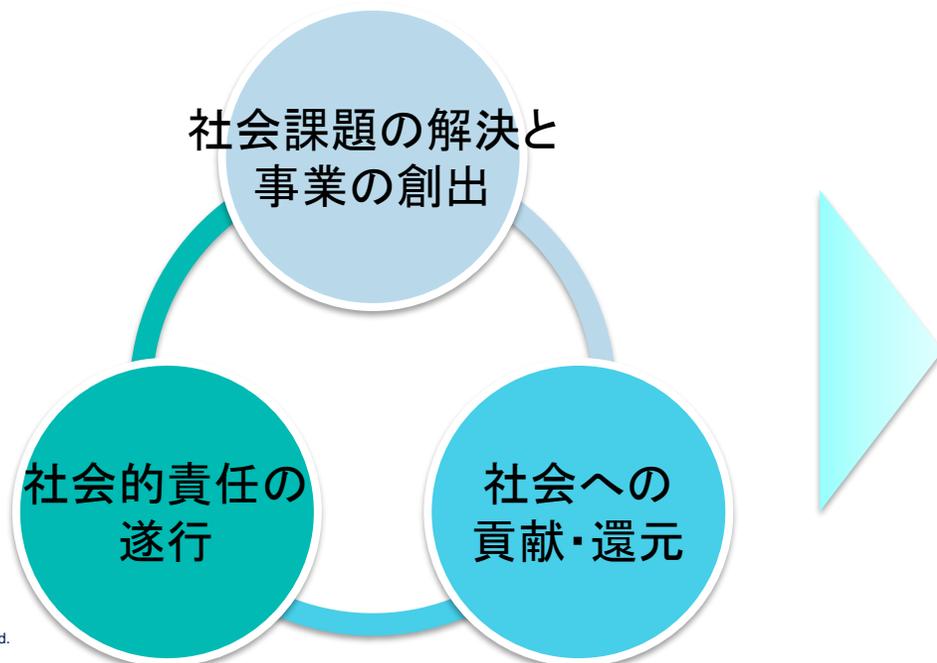
国籍、性別、年齢、障がいの有無などの違いに関わらず  
さまざまな人材を尊重し、  
その考えやスキルを活かすことで、  
既成概念にとらわれない自由な発想で課題解決に取り組みます。

# 100年後の“軽やかな世界“のためのマテリアリティ

## 時代の変化に対応し、持続的な発展をかなえるためにマテリアリティを見直す

### UACJグループにおけるマテリアリティの定義

- UACJグループは、中長期の時間軸において、ESGの観点から持続可能性に関わる重要課題をマテリアリティと定義する
- マテリアリティでは、下記の要素を重視する
  - ステークホルダーに関連の深い「環境・経済・社会」課題であること
  - UACJグループが持続的に企業価値を向上させるために優先的に取り組むべき「環境・経済・社会」課題であること
  - それらに取り組むことが、UACJグループが提供したい社会的価値・経済的価値の創出となること
- 基本的な活動として根付いた事項は、「基盤＝UACJの当たり前」として事業を継続するための土台とする



### 100年後の軽やかな世界の実現

UACJグループの持続可能性



環境・経済・社会の持続可能性

# UACJグループが目指す“軽やかな世界”に導く羅針盤

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業



事業を通じて  
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を  
未来に継承するために



People 人



従業員一人ひとりの幸せが  
家族やすべての人に広がることをめざして



社会 Society

豊かで調和ある  
社会をめざして

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

## 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。  
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。  
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる  
この特徴は、アルミニウムならではの。  
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を  
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、  
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に  
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い  
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、  
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、  
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。

未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。  
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

# UACJグループが目指す“軽やかな世界”とは

美しく豊かな地球がずっと続く未来



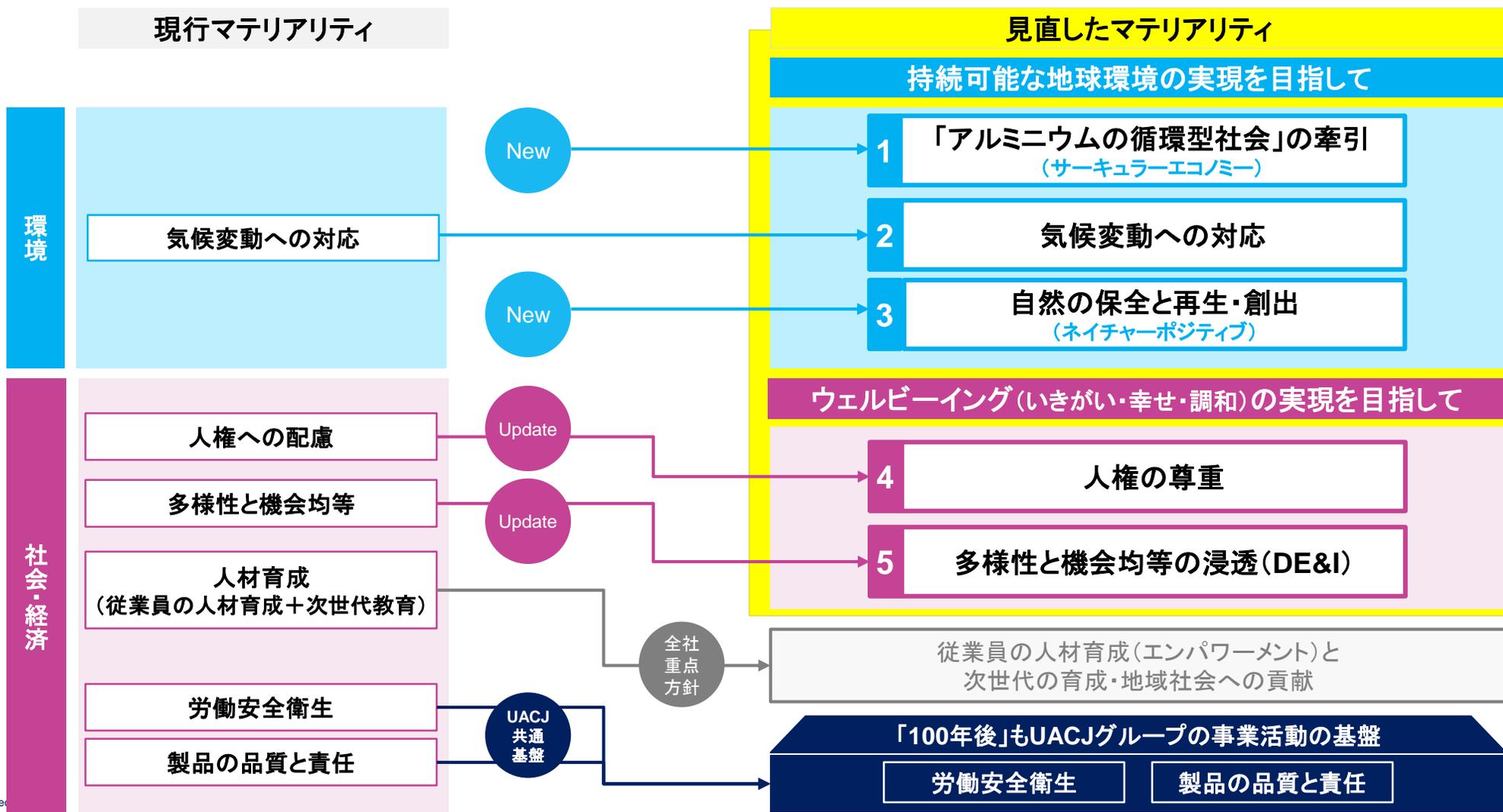
誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会

あなたをWellに。みんなをWellに。

## UACJ Well WAVE



## マテリアリティを見直し、中長期での企業価値向上を目指す



# マテリアリティの見直しフロー

## STEP1

第3次中期経営計画とマテリアリティ推進状況の振り返り



## STEP2

環境・社会・経済に関わる直近の外部要請の整理

- 環境、社会、経済課題の直近の外部要請の変化の整理
- 第4次中期経営計画の策定に向けた課題の洗い出し
- マテリアリティの見直しに向けた課題の洗い出し



## STEP3

今後評価すべき主な課題と当社へのインパクトを評価、見直し案を策定

- UACJグループのビジネスへのインパクトを評価
- マネジメント層、社外取締役とのディスカッション



## STEP4

見直したマテリアリティの公表

- マテリアリティ項目の公表

本日



## STEP5

詳細なアクションプランの設定・実行

- 担当部門によるアクションプランの策定
- アクションプラン、目標値の公表

IRデー  
公表予定  
(2024年5月)



## STEP6

フォローアップ

- 統合報告書、各種説明会のタイミングで進捗を公表
- PDCA管理
- 外部環境、内部環境の変動に応じ、適宜内容を見直す

# サステナビリティを通じた、UACJグループの価値提供の在り方

培ってきたチカラと人材力を最大限に発揮し、UACJグループならではの価値を創出する

持続可能な地球環境の実現を目指して



気候変動への対応



「アルミニウムの循環型社会」の牽引  
(サーキュラーエコノミー)



自然の保全と再生・創出  
(ネイチャーポジティブ)



事業を通じた“軽やかな未来”を創造  
緑豊かな青い地球を未来へ継承



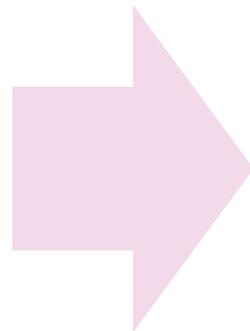
ウェルビーイング(いきがい・幸せ・調和)の実現を目指して



人権の尊重



多様性と機会均等の浸透  
(DE&I)



豊かで調和ある社会をめざす  
従業員一人ひとりの幸せが  
家族や全ての人に広がることをめざす





*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界